

平成27年7月1日号

区政報告

発行所：品川区議会公明党

住所：品川区広町2-1-36 品川区役所5階

お気軽に、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

■議会控室：広町2-1-36 品川区役所議会棟5階

■電話：03-5742-6817

■ファックス：03-3774-3366

■Eメール：info@shinagawa-komei.org

■HP：http://www.shinagawa-gikaikomei.org/



総合的な待機児童対策

広町2丁目に大規模保育園

品川区では総合的な待機児童対策として、様々な施策を実施し、保育の受け入れ枠を拡大してきましたが、引き続き、保育需要は高まっています。さらに対策を強化するために、区有地を活用して、定員300人の大規模保育施設を建設するなど、待機児童解消を目指します。

●広町二丁目大規模保育施設計画

【施設種別】認可保育所（区立）

【運営】公設民営型保育所

【予定地】広町2丁目1番地

【敷地面積】約1,636㎡

【開設時期】平成28年4月

【定員】300人

【対象年齢】1歳～5歳

●保育施設予定地



蚊の発生を元から絶つ デング熱対策を実施

昨年夏、約70年ぶりにデング熱感染者が発生し、都内を中心に多くの患者が報告されました。

区では、蚊の発生が増える季節を前に、区内の公道・公園・児童遊園・保育園・幼稚園などの雨水ますに、蚊の発生を防止するための昆虫成長制御剤を投入しています。昆虫成長制御剤は、ボウフラが成虫（蚊）になることを抑制します。

●蚊の発生を防ぐには？

「ボウフラの住めない環境を作る」

ボウフラはちょっとした水たまりでも繁殖します。植木鉢やじょうろなど、不必要な水たまりは無くし、防火用の水など必要な貯水は、まめに清掃や入れ替えを行きましょう。

「蚊の好む場所を作らない」

網戸などで室内への蚊の侵入を防ぎましょう。また、やぶや雑草などは定期的に刈り取り、蚊の潜む場所を無くしましょう。



費用が軽減される方を対象 ジェネリック医薬品差額通知

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、特許が切れた医薬品と同じ有効成分で効能・効果が同一でありながら、低価格で発売される医薬品です。

区では、品川区国民健康保険に加入されている方で、現在処方されている薬をジェネリック医薬品に切り替えると、自己負担費用が軽減される方に対し

て、「ジェネリック医薬品差額通知」を年6回、送付しています。

薬の種類によっては、ジェネリック医薬品が無いものもありますが、医師や薬剤師に相談してみると切り替えが可能な場合があります。

【問合せ】国保医療年金課給付係

電話 5742-6677

